

研究の実施に関して、ホームページに公表する内容

「新規歯科矯正用アンカースクリューの臨床応用に関する研究」に関するお知らせ

1. 【研究課題名および研究代表者】

研究課題名：「新規歯科矯正用アンカースクリューの臨床応用に関する研究」
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科・歯科発生発達生育学講座・矯正学分野
教授 宮脇正一

2. 【対象】

矯正歯科診療のため、2000年4月～2014年3月に歯科矯正用アンカースクリューを用いて矯正治療を行った方が対象となります。

3. 【研究機関名】

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科・歯科発生発達生育学講座・矯正学分野

4. 【目的】

矯正治療における新規歯科矯正用アンカースクリューと骨固定補助装置の有効性を明らかにすることです。

5. 【方法】

矯正歯科診療の検査で採得された検査資料を分析します。

1) 口腔内および顔面形態の診査・検査の分析

口腔内診査による口腔内の状態（咬合、現在歯数、むし歯、くさび状欠損の有無、歯の咬耗の程度）、顔面・口腔内写真およびパノラマX線写真、頭部X線規格写真、デンタルX線写真（10枚法）、CT、MRIおよび口腔模型を分析します。

2) 顎口腔機能（あごの動き）の検査の解析

顎口腔機能検査、咬合力（接触面積）検査および安静時・咀嚼様運動時のつばの出る量の測定結果を解析します。

6. 【意義】

本研究から不動固定源として歯科矯正用アンカースクリューを用いた新しい治療法を確立できれば、着実な治療結果が得られるだけでなく、治療期間の大幅な短縮が可能となり、患者の時間的および経済的負担の軽減を図ることができ、歯科医学に貢献すると考えられます。

7. 【個人情報】

調査結果の発表や出版に際しては個人が特定されるような情報は掲載いたしません。また、調査結果は個人情報を含まない形で保存いたします。検査資料の使用拒否を申し出る場合は下記までご連絡いただきますようお願いいたします。申し出があった場合は、速やかに対象から除外いたします。使用拒否を申し出たからといって、あなたの不利益になるようなことはありません。

8. 【問合せ先】

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科・歯科発生発達生育学講座・矯正学分野

トモナリ ヒロシ

助教 友成 博

〒890-8544

鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号

TEL：099-275-6252

FAX：099-275-6258